

国際バカロレア (IB) ディプロマプログラム (DP) 科目概要

「個人と社会」：「地理」

2019年第1回試験

IBディプロマプログラム (DP: Diploma Programme) は、綿密に構成され、高い学業レベルを要求する一方で、教育的にバランスのとれたプログラムです。16歳から19歳までの生徒を対象として、大学での学問やその後の生涯で成功できる人間になるための素養を養います。DPは、知識豊かで探究心に富み、思いやりと共感する心をもつ人間の育成、また、多様な文化の理解と開かれた心の育成に力を入れており、さまざまな視点を尊重し評価するために必要な態度を育むことを目指しています。「指導のアプローチ」と「学習のアプローチ」(ATL: approaches to learning) は、熟慮された戦略やスキル、態度として、指導や学習の場に浸透しています。DPでは、思考スキル、リサーチスキル、社会性スキル、自己管理スキル、コミュニケーションスキルという5つのATLカテゴリーのスキルを発達させます。

幅広く深い知識と理解を得られるようにするため、生徒は、1) 自分が最も得意とする言語、2) 付加言語、3) 社会科学、4) 理科、5) 数学の各グループから少なくとも1科目を選択する必要があります。さらに、グループ6から芸術の科目を1科目、またはグループ1～5のいずれかから2つ目の科目を選択することができます。選択した科目のうち、最低3科目(最大4科目)を上級レベル(HL: higher level)(推奨授業時間: 240時間)、その他を標準レベル(SL: standard level)(推奨授業時間: 150時間)で履修します。これらに加えて、「課題論文」(EE: extended essay)、「知の理論」(TOK: theory of knowledge)、「創造性・活動・奉仕」(CAS: creativity, activity, service)の3つの「コア」要素があります。「コア」科目は必修で、DPの理念の中核を成すものです。

DPの科目概要では、コースを構成する主な要素として、以下について説明します。

I. コースの説明とねらい

II. カリキュラムモデルの概要

III. 評価のモデル

IV. 問題のサンプル



I. コースの説明とねらい

「地理」は、現実の世界に深く根ざし、個人、社会、そして物理的なプロセスの間に生じる相互作用を時間と空間の両面からとらえようとするダイナミックな学問領域です。これらの相互作用の傾向やパターンを特定することを試みます。また、人が変化に対してどのように適応し反応するかを考察し、そうした変化に関連する実際の管理方法や考えられる管理方法を評価します。「地理」は、大小さまざまなスケールおよび異なる視点から、さまざまな場所の間に存在する類似点と相違点を表すものであり、それらを説明する手がかりになります。

科目としての「地理」は空間を扱うという特徴があり、社会科学または人間科学(ヒューマンサイエンス)と自然科学の間に位置づけられます。このコースでは、自然地理学、環境地理学、人文地理学を統合して、社会経済的な方法論と科学的な方法論の両方の要素を生徒が習得するよう促していきます。「地理」の独自の位置づけを利用して、関連する概念や考え方を幅広い学問領域から考察します。これにより、生徒は人生にとって欠かせないスキルを習得し、異なるアプローチや視点、考え方の価値を理解して、それらを尊重することを学びます。

SL・HLの両方で、共通項目(コアテーマ)と選択項目(地理的なテーマ)を学習します。またHLの生徒は、HL発展項目も学習します。「地理」のスキルやその学習のための活動はすべての生徒に共通していますが、HLの生徒にはさらなる知識体系を習得し、批判的な評価の能力を実証して、HL発展項目で学ぶ概念をさらに統合することが求められます。

上記に加え、「地理」(SL・HL)では、以下の点もねらいとしています。

- 人、場所、空間、環境の間で生じるさまざまなスケールの相互関係についての理解を深める。

- 地理的な問題の結びつきという文脈に照らして、批判的な認識を育み、複雑な思考を考察する。これには、以下のことが含まれる。
 - 地理的な問題、すなわち解決するのが難しい社会的・文化的問題が、人間の性質や物理的な性質に起因する強力なプロセスによってどのように形成されているかについての理解を深める。
 - これらの問題をどうすれば解決できるかについての見解を形成するため、多様な地理的知識を統合する。
- さまざまなスケールで資源を管理することにより持続可能な開発を計画する必要があることを理解し評価する。

II. カリキュラムモデルの概要

シラバスの構成	授業時間数	
	SL	HL
地理的なテーマ — 7つの選択項目 SL — 2つの選択項目、HL — 3つの選択項目 <ul style="list-style-type: none"> 淡水 海洋と海岸線 極限環境 地球物理学的なハザード現象 余暇活動(レジャー)、観光(ツーリズム)、スポーツ 食料と健康 都市環境 	60	90
SL・HL共通項目 地理的なもの見方 — グローバルな変化 <ul style="list-style-type: none"> 人口分布 — 人口の変化 世界の気候 — 脆弱性と順応性 グローバルな資源の消費と安全保障 	70	70

HLのみ 地理的なもの見方 — グローバルな相互作用 • 権力、場所、ネットワーク • 人間開発と多様性 • グローバルなリスクと順応性		60
内部評価 (IA) SL・HLフィールドワーク フィールドワークを実施し、フィールドワーク研究課題 (フィールドワーククエスチョン)、情報収集、分析結果 とその評価に基づいてレポートを作成する	20	20
総授業時間数	150	240

III. 評価のモデル

「地理」(SL・HL)には、4つの評価目標があります。SLとHLに関係なく、「地理」を修了した時点で以下の能力を実証できるようになっていることが期待されます。

1. 特定の学習内容についての知識と理解を示す。

- SL・HL共通項目である「グローバルな変化」についての知識と理解を示す。
- SLでは2つの選択テーマ、HLでは3つの選択テーマについての知識と理解を示す。
- HLを履修する生徒は、HL発展項目である「グローバルな相互作用」についての知識と理解を示す。
- IAでは、具体的な地理の研究トピックについての知識と理解を示す。

2. 知識と理解を応用し分析する能力を示す。

- 地理的な概念と理論を応用し分析する。
- 未知の情報、データ、地図資料に含まれた地理的なパターンとプロセスを特定し解釈する。
- 特定の文脈において理論や概念をどの程度認識し理解しているかを示す。

3. 統合し評価する能力を示す。

- 地理的な概念、理論、認識について考察し評価する。
- 地理的な概念と例を用いて議論を構築し発表する。
- 地理的なフィールドワークに適した方法論を用いて資料を評価する。
- HLを履修する生徒は、HL発展項目である「グローバルな相互作用」について統合し評価する。

4. さまざまなスキルと技法を適切に選択し、使用し、応用する。

- 以下を選択、使用、応用する。
 - 適切な文脈における所定の地理的技能
 - 地理の研究課題(リサーチクエスチョン)にとって適切な技法とスキル
- 適切な用語を使用して、構成の整った資料を作成する。

評価の概要

評価の種類	評価の形式	評価時間 (時間数)		配点比率 (%)	
		SL	HL	SL	HL
外部評価		2.75	4.5	75	80
試験問題1	テーマごとに、解答欄に書き込む形式の設問1問、および長文論述形式の設問2問から1問を選択して解答する。	1.5	2.25	35	35
試験問題2	SL・HL共通項目単元に準拠した、解答欄に書き込む形式の設問3問に解答する。与えられたインフォグラフィックや視覚資料に基づき、解答欄に書き込む形式の設問、および長文論述形式の設問2問から1問を選択して解答する。	1.25	1.25	40	25
試験問題3	HL発展項目の単元に準拠し、2つのパートで構成された長文論述形式の設問1問(3問のうちいずれかを選択)に解答する。		1		20
内部評価		20	20	25	20
フィールドワーク	シラバスのトピックから選択したフィールドワーク研究課題、情報収集、分析結果とその評価に基づいて、レポートを作成する。	20	20	25	20

IV. 問題のサンプル

- 火山ハザードの危険度を決定づけるうえでプレート境界の種類が果たす役割について考察しなさい。
- 地質的危険事象を予測する試みが収めてきた成功、およびそれがもたらしうる影響を評価しなさい。
- 世界の食料供給を拡大するうえでアグリビジネスと最新技術が果たす役割を評価しなさい。
- 食料安全保障と健康の関係について考察しなさい。
- 技術進歩が国家の安全保障をどのように脅かし得るかを、例を使用して分析しなさい。
- グローバルな文化というのはどの程度存在するかを論じなさい。

IBについて：IBは、過去50年近くにわたり、質の高いチャレンジに満ちた教育プログラムとしての定評を築いてきました。国際的な視野をもって21世紀の現実の課題に対応することで、より良い、より平和な世界の創造に貢献していくことのできる若者を育成しています。

DPについての詳細および科目概要の一覧は、IBのウェブサイト (<http://www.ibo.org/diploma/>) でご覧いただけます。

『指導の手引き』の完全版は、IBのプログラム・リソース・センターからアクセスできるほか、IBストア (<http://store.ibo.org>) でご購入いただけます。

DPが大学での成功の素地づくりにどのように貢献するかについては、IBのウェブサイト (www.ibo.org/recognition) をご覧いただくか、メール (recognition@ibo.org) にてお問合せください。